

令和8年度
事業計画

社会福祉法人藤嶺会

【 法人理念 】

やさしさ、思いやり、ふれあいを大切に

高齢者の豊かな生活を築いていくことを目標にします

【 事業運営方針 】

1. すべてのお客様を人生の先輩として敬い、一人ひとりの人格・生命を尊重し、その人らしく安心して、安全に生活できる環境・サービスを提供することに努めます。
2. お客様の視点に立ってサービスの見直しを行い、自立・自信につながり、心から満足していただけるサービスが提供できるように、研修・研鑽に取り組み、サービスの質の向上に努めます。
3. 社会資源として地域福祉の拠点となり、地域の方々が安心して暮らせる環境作りに貢献できるよう、開放的で透明性の高い経営を目指します。
4. 当事業所は社会福祉法人としての社会的責任の重さを真摯に受け止め、健全な経営を行うよう、全ての法令を遵守いたします。

また、従事者は、業務に関連する規程及びルール・秩序を遵守し、社会的信用を損なわないように努めます。

【 法人を取り巻く環境と課題 】

当法人は、開設以来、地域に根差した介護サービスの提供を通じて、お客様の尊厳と安心ある生活の実現に取り組んできた。

しかし近年、新型コロナウイルス感染症の長期化をはじめ、物価やエネルギー価格の高騰、慢性的な人材不足など、介護事業を取り巻く環境は大きく変化し、経営・運営の両面において一層厳しさを増している。

特に、高齢者施設における感染症対策の継続、職員の心身の負担軽減、最低賃金の上昇に伴う人件費の増加などは、安定した事業運営に直結する重要な課題である。一方で、地域における高齢化の進行により、介護サービスに対する期待と役割は今後さらに高まることが予測される。

このような状況を踏まえ、来年度においては、これまでの取り組みを検証し、課題を明確化したうえで、持続可能な事業運営とサービスの質の向上を両立させるための計画を策定する。本計画は、法人の基本理念に立ち返り、職員一人ひとりが共通認識をもって取り組むための指針とするものである。

1. 運営法人

- (1) 法 人 名 社会福祉法人藤嶺会
- (2) 代表者氏名 理事長 西山 宏二郎
- (3) 所 在 地 神奈川県横浜市旭区上川井町字東根谷 1241 番地 1

2. 運営事業

(1) 老人福祉事業

特別養護老人ホーム弥生苑
施 設 長 西山 宏二郎
副施設長 佐久間 篤
事 務 長 小川名 香織

(2) 介護保険事業

- ① 介護老人福祉施設弥生苑（第 1 4 7 3 2 0 0 2 5 9 号）
定 員 84 名 ※令和 8 年 10 月 87 名に変更予定
管理者 佐久間 篤
- ② 介護支援センターあけぼの会（第 1 4 7 3 2 0 0 1 4 3 号）
i) (予防)短期入所生活介護
定 員 6 名 ※令和 8 年 10 月 3 名に変更予定
管理者 佐久間 篤(副施設長)
- ii) 通所介護・日常生活支援総合事業
定 員 1 日 25 名/ 1 日
管理者 嶋田 道彦(課長補佐)
- ③ スマイルハーモニー 弥栄（第 1 4 9 3 6 0 0 3 8 9 号）
地域密着型通所介護
定 員 10 名/ 1 日
管理者 中西 雪恵(課長補佐)

(3) その他の事業

- ① かながわライフサポート
神奈川県内 社会福祉法人の協力による公益的取り組み
管理者 西山 宏二郎(施設長)
相談員 鷺尾 仁(社会福祉士・介護主任)
- ② 生活困窮者就労支援事業
生活困窮者の就労トライアル支援事業
担当者 嶋田 道彦(課長補佐)
- ③ 就労困難者就労訓練事業
就労に対し不安のある対象者への就労トライアル支援事業

担当者 嶋田 道彦(課長補佐)

3. 全体目標

(1) 生産性向上のための取り組み

- ① ICT・DX・介護ロボット等の導入による介護職員の負担の軽減と迅速な情報の共有
- ② 専門職の業務負担軽減を目的とした介護アシスタントの増員と業務分担及び役割の明確化
- ③ 生産性向上のための委員会の設置と運営
- ④ AI 等を活用した記録、報告書やマニュアル等の見直し・作成

(2) サービスの質、お客様満足度及び職員満足度向上のための人材育成

- ① 有資格専門職との面談のある「とはなす」導入による自己認知とストレス蓄積の解消
- ② 福祉サービス業としての接遇研修
- ③ 資格取得支援
例)介護福祉士・喀痰吸引研修・認知症介護実践者(リーダー)研修 等
- ④ 中間指導職及び中堅職員のリーダー・マネジメント研修の実施
- ⑤ 法定を含む法人内研修の実施
- ⑥ 外部機関による職場外研修への積極的な参加

(3) 人材採用と職場環境改善

- ① 専門学校、大学からの実習生等の積極的な受け入れによる関係性の構築
- ② 「とはなす」を活用した法人・経営陣と職員個人の層が理解による離職防止
- ③ 特定技能・技能実習生の受け入れのための準備

(4) リスク管理・ハラスメント対策

(5) 令和9年度 法改正に向けた取り組み準備

4. 法人の取り組み

(1) 評議員会・理事会の開催と運営

① 評議員会

事業報告、決算報告、補正予算、事業計画、予算 等

② 理事会

事業報告、決算報告、監事・監査報告、理事長及び理事職務執行状況報告、評議員会招集、諸規程改定、補正予算、事業計画、予算 等

(2) 施設・設備の老朽化への対応

(3) 特定技能等による外国人スタッフの受入準備

- ① 採用に関する各種申請・手続き

- ② 採用面接、採用可否の判断
- ③ 外国人介護スタッフのための生活環境整備
- ④ 外国人介護スタッフ採用に関するマニュアル等の作成及び周知

5. 各部署目標・計画

(1) 経営・管理者会議

- ① 事業経営安定のための経営分析
- ② コンプライアンスのための各事業の定期的な運営状況の確認
- ③ 人員の確保と適正な処遇・格付けと配置
- ④ 施設・設備の修繕に関する実施スケジュールおよび資金計画

(2) 役職者会議

- ① 各部署目標に対する達成度の評価及び管理
- ② 事業別収支状況の把握
- ③ サービスの質の管理
- ④ 人材育成
- ⑤ リスクマネジメント

(3) 介護老人福祉施設

① 目標稼働

(延利用者数) 30,582名 (稼働率) 98.0%

※特養・短期入所合計 32,226名 98.0%

② サービス

- ◇ 通年における各種感染症予防・対策の実践
- ◇ ICT及び介護ロボットの導入による業務の効率化、科学的介護(LIFE)とそのフィードバック情報の活用によるPDCAサイクルの実践
- ◇ 関係部署・関係職種参加のカンファレンスに基づく、共通認識におけるサービスの提供
- ◇ サービス業としての接遇・基本姿勢の見直し
- ◇ お客様の生活の場としての美化・環境整備

③ 人材育成

- ◇ キャリアパス・人事考課に基づいた指導・育成・定着・面談による職員の能力開発
- ◇ 職員間における相互関係の見直し
- ◇ 高度な認知症ケア提供のための内外研修の積極的参加
- ◇ 介護福祉士等の資格取得支援
- ◇ 喀痰吸引研修(1号・2号)の受講

④ 顧客開発

- ◇ ホームページ等による広報活動

- ◇ オンラインによる施設見学・説明会の準備
- ⑤ ローコストオペレーション
 - ◇ ムリ・ムダ・ムラのない情報共有による連携
 - ◇ 備品の在庫管理及び使用方法の管理、見直しによるコスト管理の徹底
 - ◇ 備品の定期的な自主メンテナンス

(4) (介護予防)短期入所生活介護

- ① 目標稼働
 - (延利用者数) 1,644名 (稼働率) 100.0%
 - ※特養・短期入所合計 32,226名 98.0%
- ② サービス
 - ◇ 通年における各種感染症予防・対策の実践
 - ◇ 在宅生活継続のための「自立支援」「介護者の負担の軽減」につながるADLを低下させない生活リハビリ・機能訓練等の提供

(5) 通所介護・日常生活総合支援事業

- ① 目標稼働
 - (延利用者数) 5,852名 (稼働率) 76.0%
- ② サービス
 - ◇ 在宅生活継続のための個々のニーズに対する個別プログラムの立案とそのサービスの提供
 - ◇ 自立支援プログラムの提供と介護者の負担の軽減を目的とした相談援助
- ③ 人材育成
 - ◇ 業務・マニュアルの見直しによるサービスの質・量の安定
 - ◇ 常勤職員のステージアップのための役割・権限移譲
- ④ 顧客開発
 - ◇ ホームページ等による広報活動
 - ◇ エリア・お客様像等、ターゲットを絞った営業・広報活動
 - ◇ パンフレットの定期的な更新

(6) 地域密着型通所介護

- ① 目標稼働
 - (延利用者数) 2,151名 (稼働率) 85.0%
- ② サービス
 - ◇ 認知症ケアとしての機能訓練(身体機能・認知機能・生活動作)とお客様間での交流や助け合いによる生きがい活動
 - ◇ プログラムの継続による効果等のフィードバックによる達成感を得られ、継続する楽しみを持てる活動の更新

◇ お客様との地域貢献活動への取り組み

③ 生産性向上と人材育成

- ◇ 認知症ケアを含む事例検討を通し、職員の相互協力体制の強化・職員定着を図る
- ◇ 間接業務におけるムダの解消と、ムリ・ムラのなく業務が遂行できるよう業務の課題を分析し、業務改善に努める
- ◇ 介護ロボット・福祉機器の導入による生産性の向上と業務負担の軽減
- ◇ 定期的な面談の機会を設け、職員間における共通認識・理解及び相互理解による離職防止・職員定着

④ 顧客開発

- ◇ ホームページ及び公式LINEによる広報活動
- ◇ エリア・お客様像等、ターゲットを絞った営業・広報活動
- ◇ パンフレットの定期的な更新

(7) かながわライフサポート事業

「社会福祉法人」の制度設立の理念のもと、開拓的な公益活動に取り組むことを目的に、全ての種別の神奈川県で活動する社会福祉法人が協力して立ち上げた事業であり、先駆的に取り組み、牽引してきた実績をもとに、対象者のサポートのみならず、相談員の育成とセーフティネットとしての機能を果たし、公益的な取り組みが継続されるよう責務を果たす。

(8) 生活困窮者及び就労困難者に対する就労支援事業

行政・就労支援センター等との連携・情報の共有をもとに、対象者の不安が解消され、自ら問題解決に取り組み、前進されるよう事業所としてサポートする。

(10) 福祉体験実習

インターンシップを含む学生等の福祉体験の受け入れ

※感染症に対する「まん延防止等重点措置」等の適用期間は除く

6. 苦情対応

(1) 苦情解決責任者

(介護老人福祉施設)	管 理 者	佐久間 篤(副施設長)
(短期入所生活介護)	管 理 者	佐久間 篤(副施設長)
(通 所 介 護)	管 理 者	嶋田 道彦(課長補佐)
(地域密着型通所介護)	管 理 者	菅原 雪恵(課長補佐)

(2) 苦情受付担当者

(介護老人福祉施設)	生活相談員	高橋	秀行(主任)
(短期入所生活介護)	生活相談員	高木	崇(主任)
(通所介護)	生活相談員	松田	晃
(地域密着型通所介護)	生活相談員	田中	幸一

(3) 第三者委員

延命 政之(弁護士)

7. 各部署役職者

(1) 特別養護老人ホーム弥生苑

施設長 西山 宏二郎

副施設長 佐久間 篤(介護老人福祉施設 管理者
兼短期入所生活介護 管理者)

事務長 小川名 香織(再掲)

(2) 総務室

事務長 小川名 香織(再掲)

(3) 福祉推進室

課長 吹揚 佳子(生活相談員)

主 任 高木 崇(介護支援専門員)

(4) 医務室

副 主 任 枝 洋一郎(看護職員)

副主任 鹿島 政秋(看護職員)

(5) 生活介護室

主 任 佐藤 彰則(介護職員)

主 任 田村 敦(介護職員)

主 任 鷺尾 仁(介護職員)

副 主 任 吉岡 美幸(介護職員)

(6) 通所介護

課長補佐 嶋田 道彦(管理者兼生活相談員)

(7) 地域密着型通所介護

課長補佐 菅原 雪恵(管理者兼生活相談員)

8. 職員研修計画

(1) 年間計画

月	研 修 内 容	講 師
4 月	(1) 法人理念・事業方針 (2) 介護職員のための大切なルール	西山理事長 動画視聴
5 月	事故防止対策研修（１） ～防ぐべき事故と防げない事故～	動画視聴
6 月	(1) 認知症ケア (2) 身体拘束廃止研修（１） ～認知症利用者の難しい事故への対策～	動画視聴 動画視聴
7 月	感染症対策職員研修（１） ～必要な対策を効率的に～	動画視聴
8 月	(1) プライバシー保護・倫理及び法令遵守 (2) 認知症研修	動画視聴 動画視聴
9 月	虐待防止職員研修（１） ～虐待も原因分析と防止対策で防ぐ～	動画視聴
10 月	事故防止対策研修（２） ～現場の事故防止の具体策～	動画視聴
11 月	身体拘束廃止研修（２） ～認知症利用者の難しい事故への対策～	動画視聴
12 月	感染症対策職員研修（２） ～食中毒予防とノロウイルス対策～	動画視聴
1 月	(1) 緊急時の対応及び救急法研修 (2) 看取り介護研修	看護職員 動画視聴
2 月	虐待防止職員研修（２） ～虐待も原因分析と防止対策で防ぐ～	動画視聴
3 月	(1) 感染症対策 BCP 研修 ～感染対策と業務継続～ (2) 高齢者施設の災害対策 BCP ～災害発生後に利用者の生活を守る～	動画視聴 動画視聴

※ 原則、動画視聴研修となるが、適宜情報の更新等により対面による研修と差し替え又は追加して開催する。

(2) 採用時研修 ※ 採用 1 ヶ月以内

- ① 事故防止研修
- ② 感染症予防
- ③ 認知症ケア研修
- ④ 身体拘束廃止研修
- ⑤ 虐待防止研修

(3) その他

- ① 常勤登用対象者研修（常勤登用希望者）：8月・2月
- ② 次年度昇格者研修（次年度昇格予定者）：2月
- ③ 喀痰吸引研修（喀痰吸引研修修了者フォローアップ）

9. 防災訓練

	（特養）弥生苑	通所介護	S H弥栄
4月			
5月			
6月	夜間火災想定訓練	火災想定訓練	
7月			
8月			
9月	地震・火災想定訓練 （消防立会訓練） B C P（感染症）訓練	地震・火災想定訓練 （消防立会訓練） B C P（感染症）訓練	
10月			浸水害想定訓練
11月			
12月	夜間火災想定訓練	火災想定訓練	
1月			
2月	土砂災害想定訓練	土砂災害想定訓練	地震・火災想定訓練 （消防立会訓練）
3月	B C P（災害）訓練	B C P（災害）訓練	